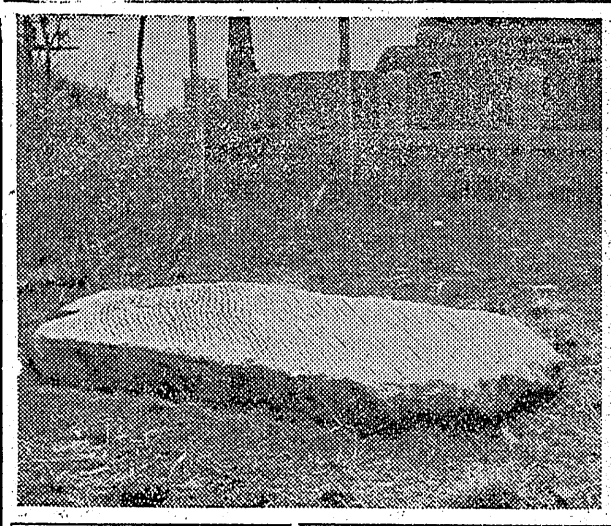
夕刊
いわき民報
発行所
平市田町四八番地
いわき民報社
電381　1222

三菱ミシン
○六九電町南町平市
草野ミシン商會

# 物見ヶ岡に井六年間 鐵道記念碑を放棄

## 平市から鐵道側に再建要望



（写真は三十八年間うつむけに寝かされたまま放置されていた鉄道記念碑）

磐越東線は大正六年十月敷設したもので当時は一日平均二千名の乗降客に過ぎなかった、その当時建設した鉄道記念碑が平市物見ヶ岡の井上浅作消防組頭石碑の後に投げ捨てられてあるのを一市民の知らせに断く気のついた平市観光課では十九日国鉄側に善処方を要請した

この鉄道記念碑は常磐線の開通を記念し旧磐主安藤信守氏（当時は従四位子爵）が建立した歴史的なもので、今の物見ヶ岡下の磐越東線軌道地内に建っていたが、大正六年磐越東線（当時は平郡線といった）の敷設工事着工の際これを取去して物見岡に運搬し建て直す予定だったが、爾来卅六年時の流れと人の変転の裏にいつか忘れ去られていたもので、平市観光課では「一市民の知らせに『ソンナものがあったのか』と驚き早速国鉄に再建方を要望した、平駅でも四十年前のことだけに「それは大変」と水鉄管理局に連絡する一方、再建場所を研究の上早急に鉄道記念碑の建立を行うことになった

観光課の話＝そういう歴史的なものを放置することは新たに観光課を設け観光平市を打ち出そうとしている観光平市として出来ないことも知らなかった、常磐線の開通を記念する石碑とあっては、早急に立派に復元させたい、知らせて頂いて有難かった

▼議長談＝この前の委員会で視察に出掛けることを決めたがその時は議会事務局の職員も立合っていたので事務局を通して長瀬議長に話が通っていたものと思っていた、規定以外の旅費については自弁する條件で許可した

▼議会事務局談＝久保木委員長が長瀬議長に許可を得てから出張するのが建前だったが手続上欠陥があった、他の委員会で視察を希望された場合厚生委員の出張を認めて他を拒否するわけにも行かずその辺は難しくなるだろう

▼福祉事務所談＝委員が何人視察に出掛けたのか報告がないから判らない、案内役には江尻主事を同道させた、今度の出張は労働会館、福祉施設の視察と云うことになっている

# 議長の許可なしで 厚生委が視察旅行

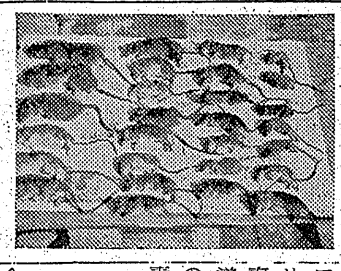
## 磐城市て面倒な問題起る

任期満了が間もない磐城市会議員のうち厚生委員の一行が十七日から飯坂、岩代熱海両温泉に宿泊しながら二泊三日の予定で郡山、二本松、福島の福祉施設などの視察に出掛けたが、たまたま長瀬議長の許可を得てなかったので同議長もすつかりむくれ出し「今回は無断出張だ」と批判し議会事務局で

▼立花市長談＝この前の委員会で視察に出掛けることを決めたがその時は議会事務局の職員も立合っていたので事務局を通して長瀬議長に話が通っていたものと思っていた、規定以外の旅費については自弁する條件で許可した

▼議会事務局談＝久保木委員長が長瀬議長に許可を得てから出張するのが建前だったが手続上欠陥があった、他の委員会で視察を希望された場合厚生委員の出張を認めて他を拒否するわけにも行かずその辺は難しくなるだろう

▼福祉事務所談＝委員が何人視察に出掛けたのか報告がないから判らない、案内役には江尻主事を同道させた、今度の出張は労働会館、福祉施設の視察と云うことになっている



# 約百萬匹の鼠を退治

## 中でも好間村兩部落は好成績

十二月七日から二十七日まで二十日間県下一斉に行われたネズミ駆除運動で石城郡内の成果は四十%の約百万匹のネズミをせん滅し、なかでも県指定のモデル駆除地区の好間村大字今新田と小谷作の両地区は平保健所員の直接指導と部落民挙げてのネズミ掃滅に八十%の成果を挙げ部落内にはネズミの隊も鳴られなくなつた

好間村保健委員会は両部落の県指定に初の試みとして薬品、バチコによる徹底的なネズミ駆除のため対策本部を小谷作橋口の広川芳寮氏宅に設け、先ず保健所員の指導で両部落八十六戸に二百五十個のバチンコを配置するほか各戸で毒えさを撒きネズミ退治を行い

（写真は退治されたネズミ族）

# 海員會館設立か 陳情

全日本海員組合東北支部並びに同小名浜分室では十八日小名浜港に海員会館を設立するよう東北海運局小名浜支局、磐城市などに陳情ほしいというもの

❶関係官公衙、業者、市民有力者及び本組合からなる委員を選出し建設委員会を設置する❷設置場所は小名浜地区とし構造は木造二階建（建坪五十坪乃至二百坪）❸建設概算九百万円（厚生省、県各三百万円、市二百万円、婦附金百万円）❹浴場、理髪、宿泊所、食堂、教育娯楽機関及び集会場等を設け船員のほか一般者にも解放する❺設立後は一般商人に支障を及ぼさない範囲内で館内に消費生活協同組合の設立を認め日用品等を販売させる❻運営は運営委員会を設け民主的に行う

# 個人別割當船決る

## 獨航船の増加割當分

北洋サケ、マス独航船の本年度新増割当十六隻の配分は昨年平均五百万円を稼ぎ日本一の成績を挙げただけに同割当配分をめぐる争奪戦は十日以来平水産事務所で難航が続いたが十八日漸く最終配分を小名浜二隻、四倉二隻、中の作五隻、江名五隻に決定した、決定した出漁船次の通り

▼江名　第五吉丸（小松冷蔵）第六広運丸（戸田満次郎）第八幸日丸（坂本昌一）第七明治丸（金成一郎）第十諏訪丸（中田武雄）

▼中の作　第三太洋丸（太定雄）第七太陽丸（吉田喜一）第五開運丸（金成幸夫）第十長栄丸、第七栄福丸（沢万次）

▼四倉　第八金比羅丸（鈴木慶一）文珠丸（鈴木常松）第二百康丸（佐藤伸）

▼小名浜　同地区の個人別配分は未決定

# 水門補強など

## 卅六區で市に陳情

平市二十六区（区長伴喜三治氏）では十七日菊井川堤防の水門を補強するほか、六、七丁目地内に側溝を新設して欲しいなど陳情した

▼鎌田鉄橋下の水門が現在未完全なため、昨年増水の際に菊井川の河水がこの水門から逆流し附近住宅が相当浸水したのでこの改修を要望しているもので、現在鉄橋と平神橋間の堤防は弱体化しており万一これが決壊すると七丁目、鎌田町、六丁目など一帯が浸水するので地元民も心配している

▼平神橋入口脇の小泉建具店から裏通りをへて佐藤精米所から桑原製菓工場に至る道路には溝や鈴木保夫氏宅脇の道路には溝がなく、又大泉工場前並に別當神社（七丁目）前から用水路までそれに元の都鳥食堂の側から同用水路（裏側）迄の二カ所は側溝があつても附近一帯は汚穢にして衛生上まずくこれを改修すること、なお丸東青果市場前の用水路と暗渠の改修を要望しているもの

# 火葬場改築へ

## 平市から視察に出張

平市営火葬場（平市大館）は昭和三年に設置されてから既に二十六年を経過しているため建物は老朽化しているのは勿論、四基のカマもボロボロで大きな地震でもあればすぐに潰されそうな危険な状態にあるためカマは新設せねばならなくなつできたので三十年度の当初予算にその所要経費を計上することになつた、そのため新婚市民課長、小沼営繕課長らが十九、二十の両日に亘り郡山、白河両市の火葬場を視察、このカマの新設を機に建物もたて直し、休憩所、祭壇なども設けるかどうか検討している、電話も無かつたので今度新設するが、火葬場を全部たて直すのには少くとも三百万円は必要とみられている、現在のカマはマキでやつているが、今後は重油式に改設する計画である、なお同課では四カ町村合併により市域が拡大された

# 平職安所の異動

県労働部は十六日附で人事異動を発令した、平職安所の異動次の通り（カツコ内は旧任地）

富岡職安所高崎堅四郎（平）
福島職安所栗林幸吉（平）
平職安所佐久間昇三郎（福島）

# 岡ヵ見物

平市は町村を合併して観光平にふさわしい條件を備えて来た、草野の新舞子、鷺岡の経台、二月十一日から発足する南赤井の合併で赤井嶽等々がある▼平市のツンジの名所である松カ岡公園もよいが、今度物見カ岡に三階櫓と美術館を建て、更に昔門のあつた場所に井カ所標識を建てる運動は是非実現させたい、これが完成すれば観光平に一段の光彩をそえることになる▼工費は七百余万円で大きな計画ではないがそれでも昔を偲ぶよすがともなり観光客を引張るのに役立つことは間違いあるまい、平市に来て見た人でどこにお城があつたのか、歴史に明るい人が居ないと聞くことも見る事も出来ないのが現状である▼鳥居公の時代十万石、内藤、安藤公時代五万石、地方では小さくない城跡である、それが石垣一つさえ見ることが出来ない有様ではある、人間の気持は新しいものを探究する意慾のある反面古い昔を知り度い慾望がある▼昔を知り現代を知つて将来を図ることが必要だ、だからこの計画は決して無駄ではなくムシロ必要なことである▼世はデフレの感に吹きまくられてはいるが各方面の理解と援助によつて何とか目的を達成させたいものと思う。

# 天気予報

十九日【今晩】北よりの風曇時々晴【明日】北のち南よりの風曇のち時々雪が出る、遅くなつて盛山沿地方は雪、海上今晩はおだやか、明日は次第に風波が出る見込み

# 平醫師會館 學院に設置

平医師会（会長鈴木正男氏）では平医師会館を平市田町平商等現実とが各方面の理解と援助によつて何とか目的を達成させたいものと思う。

全市連合福引大売出し
特賞　五万円が
名様に当る！
特等…10000円（10本）
1等…砂糖一俵
2等…以下賞品山積み
☆空くじなし☆
1月20日～26日
平市商店記念
平市連合商店會

# 石城地方の文化運動について
## —NHKのマイクを通して
## 蓬來信勇（下）

地方文化といえば、都会文化と対照的に或いは隷属的に考えられがちでありますが、私たちの求める文化はあくまで人間性を基調にした点で、従来の都会文化を克服したより高次のものであることが期待されます。過日来、当地の「いわき民報」「三和新報」紙上に掲載された「石城文学論争」などは、その芽ばえのあらわれとみることが出来るでしょう。特に当地方が、大工業地帯という科学的な土壌に育てあげてゆくのが、私たち若い人達にとつては、定め大な文学作品が生れ、職場の隅々から明日を呼ぶ高らかな歌声が湧き上る、豊かな文化環境を楽しむ日も遠いことではないでしょう。生活と文化、科学と精神のハーモニイから、新しい文化をわが故郷の土壌に育てあげてゆくのが、私達の希望であり任務でもあると思います。

然し、整つた環境や条件は一時に出来るものではありません。高度の発展を約束づけられている今日、それと表裏一体をなす精神的文化活動に於ては、わが国に特異な文化センターを形づくる要素を多分に持つているといえましょう。

石城の郷土から、逞ましく偉大な文学作品が生れ、職場の隅々から明日を呼ぶ高らかな歌声が湧き上る、豊かな文化環境を楽しむ日も遠いことではないでしょう。生活と文化、科学と精神のハーモニイから、新しい文化をわが故郷の土壌に育てあげてゆくのが、私達の希望であり任務でもあると思います。

然し、整つた環境や条件は一時に出来るものではありません。日常生活の中で不断の細心な準備が大切です。世代によつて時代感覚が異るように、生活様式も、おのずから別なものがあるでしょう。

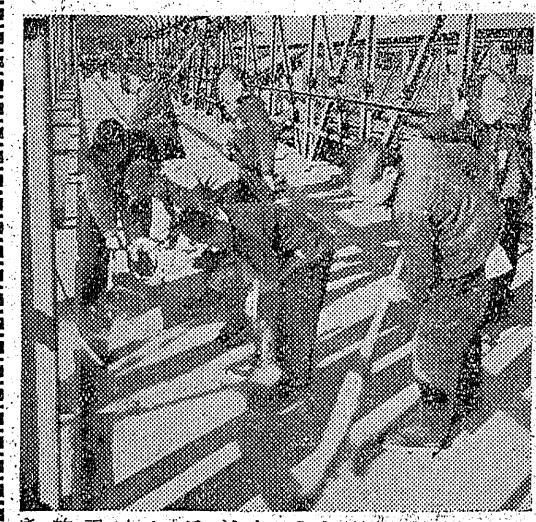
次に私の属しております尼子会の活動にふれてみます。殆んど三十才、三十才代の会員約三十人によつて組織され、毎年夜間夏期大学を開催し、春秋二回には音楽会をひらいております。例えば一昨年の芸大吹奏楽演奏会、昨年の安川加寿子、厳本真理リサイタルの如きであります。毎月一回の小講演会、その他座談会もひらき、又尼子会双書として猪俣金五郎氏の「飯野文書解説」を出版し、近く天田愚庵に関する二著、会員の筆になる「常磐総合開発と低品位炭利用」も出版することになつています。われらの活動をアカデミックであり、高踏的であると評する方がありますが、第一にわれらは当地方の文化の不均衡を是正し一定の高度に達せしめ、第二に半封建的低俗文化に対する斗争、というほどのことでなくともかすかなレジスタンスを行う、という意図によるものであり、第三に明治、大正に於ける視点によりみられた郷土史を新らしい角度よりみたいという野心からであります。

最後に石城地方に自然発生的におこつて発展しつゝある文化運動を育てあげてゆく上での忘れてはならない愛情です。

去る元旦、平市公会堂の名刺交換会で、参会者一同が教育長のタクトでなんの伴奏もなく「君が代」を斉唱したのでありますが、四十代以上の人ならばくあたり前のことでも、新しい音楽教育を受けた若い人達にとつては、定め滑稽な姿に映つたことでしょう。小学生が覚々と作曲までやるこの頃の教育を思うとき、公会堂にピアノを備えつけようという著名運動が、音楽愛好者の中から起つたというのも、新らしい文化運動に対する意欲のあらわれであると思われます。

次に私の属しております尼子会の活動にふれてみます。殆んど三十才、三十才代の会員約三十人によつて組織され、毎年夜間夏期大学を開催し、春秋二回には音楽会をひらいております。例えば一昨年の芸大吹奏楽演奏会、昨年の安川加寿子、厳本真理リサイタルの如きであります。毎月一回の小講演会、その他座談会もひらき、又尼子会双書として猪俣金五郎氏の「飯野文書解説」を出版し、近く天田愚庵に関する二著、会員の筆になる「常磐総合開発と低品位炭

（尼子会々長）



# 平安橋を"お掃除"
## 感心な鷹匠町少年會

★…カラツ風が冷めたく身に沁み渡る十八日のヒル時、元気な少年たち十名がホウキやゴミ取りを持つてせつせと平安橋の掃除に汗を流していた、通行人たちも感心したが特に池田平駅長は〝誰に有難いことで感謝していますゝと語つていた

★…鷹匠町少年会（会長中根輝雄君）四五年の良い子たちで〝自発的にやつたのです、平の玄関口がきたないようでは困りますから、今後もよろしく〟と相談して掃除しますゝと張切つていた（写真は平安橋を掃除する感心な少年たち）

# 港灣荷役量
## 十二月中

東北海運局小名浜支局では十二月中の小名浜港湾荷役取扱い実績を一万百二十九トンと十八日次の通り発表した、この実績は二十五年以降最高の記録、これは英国船ドリンシヤ号（四千百二十トン）による中共向け日本水素硫安三千トンが輸出されたほか常磐炭鉱磐城鉱業所の自己荷役（非登録業者）石炭千七百七十トンが積出されているため

【登録業者扱い】▼邦船（船腹四隻（船舶トン数五千六百十五トン）貨物三千五百七十トン（石炭コークス）▼積荷三隻（二千三百一トン）千七百八十九トン（スクラップ二百トン、ドロマイト千四百八十九トン）【外国船扱】▼積荷三千トン（硫安）▼計八隻（一万二千四十六トン）貨物八千三百五十九トン【自己荷役】▼汽船一隻（千七百九十七トン）積荷千五百二十トン（石炭）▼機帆船一隻（二百八十トン）積荷二百五十トン（石炭）▼計千七百七十トン▼合計一万百二十九トン

# 水産高の練習船
## 廿一日ハワイに寄港

県立小名浜水産高校（校長安達新氏）の実習船福島丸（二百三十トン）＝船長山口祐一郎さん船員二十二名、指導教官一名、実習生七名の計三十名乗組＝は南太平洋に出漁中だが二十一日ハワイ諸島ホノルルに寄港する

十七日朝小名浜漁業用海岸無線局への連絡によれば同船操機員大野浩さん（三）が右眼にケガしたので大事をとるため同校では「ホノルル向け入港せよ」と打電したもの、現在約五百四十浬の沖合にありホノルルの港は二十一日の予定だという

安達校長談＝大野君のケガ程度は軽傷と聞いているが小名浜港に大羽イワシ二千貫、セグロイワシ三千五百貫の水揚げがあつた、大羽イワシは貫当り高値二百八十円、安値二百五十五円、セグロイワシは高値八十五円、安値五十九円で取引された

# イワシ六千貫揚る

旧正月を前にして磐城沿岸のイワシ漁は風が強いため思うように操業が出来ずにいるが十八日磐城市不明だが大事をとる為ホノルルに寄港させ医者に診て貰うよう連絡した、水産庁を通じ寄港許可をとるべく外務省に手続を早速とつた、高校実習船がホノルルに寄港するのは全国でも珍らしいと思う、滞在期間は不明だ

# 緬羊王國へ
## 錦町で現在三五〇頭

錦町では農家の副業として緬羊の飼育を奨励し年々仔緬羊が繁殖するので此の調子では二、三年後には五〇〇頭の優良緬羊が飼育され文字通り県下に誇る緬羊王国が築かれるものと見られている

# 入り山を仰ぐ子供達
## 泉川分雄

【65】

僕の様な腕白小僧を可愛がつて下さる先生つてやつぱり偉いんだなあと感激した。今朝の夢はむしろ逆に僕が勝つてしまつたのだから神様が誕生日だというわけで守護して下さつたのかも知れないと思つた。

八月十三日　朝四時頃だつたかな。僕の家の玄関前の道路をどこかのかあちやん連中が、多分四五人位大きな声を出し乍らどなつている。余り声が大きいので起こされてしまつた。なんでも「人身売買事件があつた」とか「この頃は不景気だから娘が売られつちまう」なんていう声がガヤガヤと聞こえて来た。

時々聞かされた言葉だと思つてどんなことかなと一生懸命考えたそうだ、若い女の人が品物の様に他家に売られてしまうことだとわかつた。するとこの近くで起つたのかも知れない。世の中には色々なことがあるものだ。売られた人はどうなるんだろうとふと頭を振めたが僕の頭をもつてしてはわからないので考えるのは止めておいた。わかることは社会に害悪を流す悪質な事件が多いことだという事位である。

健三の日記は休みが終る迄続いた。長かつた夏休み、この休みの一日、一日が日記の中に常明に書かれてあつた。だから日記は夏休みの健三の生活を反映した鏡であり、この鏡を通じて健三の生活を知ることが出来るのである。だから健三はこの日記に依つて子供ながら毎日毎日の生活について自己反省をしていた。それは健三を慈ろく程成長させていた。何にも勝る大きな収穫であつたといい得る夏休み中何一つとして、勉強らしい勉強をしなかつた健三であるが日記だけは実によく書いたのである。

休みが終つても暫い日は当分続きそうな天気配置状況であつた。

放課後、健三は清掃当番を終えて一人校門を出た。千歳は教室の窓より何気なく健三を呼んだ。然しいつのまにか健三の姿は校門の土手に消えてしまつた。

校門を出た健三は、勿論担任の影山先生に呼ばれたなぞ知る筈がない。一歩一歩、我が家に運ぶ足音は軽かつた。暫らく無言で歩つている時計塔さえ忘れていた。青い空。西の方にくつきり浮かぶズリ山の雄姿。そのズリに襲いかぶさる様に入道雲が顔を出していた。廻りの木々からは蝉が喧しくなきたてていた。

健三は何気なく眼の前にあつた小石を右足でけつた。その石は強くけられたので左側のこんもり繁つている木にあたつた。カーンという音が辺りをこだました時、健三の眼の前に三名の中学生が立ち塞がつた。偶然の一瞬間だつた。三名の中学生は中学校でも手に負えない程の不良染み学生で、小学校はすべて恐れていた。一瞬、健三は面喰らつた。

「健三、このやろ、てめえ、おれらと手を切つたのか。」一人の学生が、しらつた。


大好評！　世界の有名品
特賞10万圓が當る
1月31日まで
プラチナ萬年筆
高級インキ
正14金ペン付 800円より
耐酸ペン付 200円より
平市三丁目 岡万年筆店 TEL 399

七分かもコマもお薬なら
モシモシ… 927 采田（ハイ）青葉薬局（デス）
支店 平市駅前バス停前　本店 平市七丁目八

ラジオ
部分品　電球　螢光灯　乾電池　電気器具　暖房器具の御仕入れは各一流メーカー代理店の弊社へ
田村無線電機株式會社
平市1の47　TEL 636

御宮
橋本屋
平市新川町電一九四八

寒さに備えましょう
純綿メリヤス肌着
高級純毛毛布
男女児服　ジャンパー　セーター各種
ツルヤ
平市四丁目　電話一四〇

産婦人科
中田医院
平市材木町県薬館前　電話一〇九七番

特製シューマイ
美味ワンタン
さかえ食堂
平駅前　電988

○看護婦家政婦の御用命は
電話三〇七番　平看護婦家政婦斡旋所
労働大臣認可
○親切丁寧な看護婦、家政婦御利用下さい
平市南町

Shogetsudo
明るく楽しい…
松月の菓子
平銀座　TEL 206

# 平事件の被告新井
## アドルムを服み自殺

十八日午前七時半ごろ磐城市湯長谷字梅ガ平七六無職林松テルヨさんは自宅二畳間で寄宿中の同市三函無職新井康夫こと朴康根(三七)が死んでいるのを発見磐署に届出た、同署で調べたところ同人はアドルム五十錠を服んでおりポン中毒患者の上平事件分離組の被告で住居侵入撹乱罪で三年の求刑を受けており昨年暮に逃げられた上、神経痛で働けず更に覚醒剤法違反で罰金六千円の刑を受けており生活苦による厭世自殺とみられている

# 舊歳末に話題
## 四倉町に二つ

四倉町では町内貧困者に対して具商の孫貞雄さんらと共に田戸部落入口で針仕事、編細工等をして旧年末助け合い運動に乗り出しているが同町田戸二三〇農業門馬サタさん(六九)と一女学生の心余生を送っているが、世の中の人々にお役に立つことをしようと去温まる話題があり町長始め職員達を感激させている

る二十八年から三年間、近所から「竹の皮」をもらい集めてわらじを編み毎年寒くなると貧しい隣保今年九十才を迎えた門馬さんは船

# 自轉車に夫婦で乘り
## 三輪車に觸れ妻が重傷

十九日午前八時三分ごろ内郷市綴町字堀坂大工鈴木次雄さん(三七)は荷掛に製ハツエさん(三七)を乗せ三人乗り自転車で内郷市一の町地内国道を通行中、磐城市字定西野菜販売業佐藤三郎兵衛さんのオート三輪車＝運転手長男(二七)＝にふれて転倒し、ハツエさんは頭蓋底骨折で共立病院に収容されたが重態生命はとりとめる模様

# 殉國青年隊の余罪追及

平署では平生れ東京都港区芝田村町殉国青年隊本部員、自動車運転手加藤久雄(三)を去る十二月二十三日平市大町でヒロポン五CC入アンプル二十三本を所持していたところを逮捕取調べ中だったが、更に恐喝二件の外余罪相当ある見込みで追求中

# 盜難が二件

十八日平署に二件の盜難届があった

▼十八日午前十時半ごろ平市泉崎字向原四宮セメント工員高岡武雄さん(四七)は同工場風呂場に掛けたオーバー一着、ジャンパー等時価三千円相当を盜まれた

▼十八日午後十時半ごろ平市自鍛町飲食店「ひろみ」こと鈴木忠治さんは軒下に置いた新品自転車一台時価一万二千円相当を盜まれた

# 學校ダンス講習會開く

廿一日平二小

平市教委では全国舞踊文化連盟の協力を得て学校ダンス講習会を二十一日午前九時から午後三時まで平市第二小学校講堂に開く、講師は全国舞踊文化連盟会長瞳哲也氏参加範囲は郡内、四市の小中高教職員、全国舞踊文化連盟では岡山香川、和歌山、高知、愛媛、長崎など全国を行脚して学芸会舞踊と児童劇講習を行つており絶讃の好評を博している

# 平市獵友會
## 役員を留任

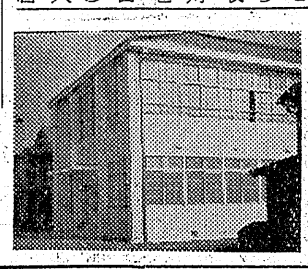
獵友会平分会総会は十八日午後一時から本社ホールに開きやく卅名出席し役員改選の結果会長白土喜伯、副会長甲府田忠雄、山崎磐雄氏ら始め全部留任と決定した

# 八百五十俵を押收
## 昨年のヤミ米取締り狀況

平署で昨年中に行つた闇米取締件数は二十五回、出動警察官延五九名、列車取締本数は四十五本（内急行二本）押收米は有主物四〇俵、無主物八一五俵、食管法違反検挙者は五一名（内朝鮮人十一名）となつている。列車取締りは主に上り平着一時十分二二列車、同二時三十分着上り準急三〇列車で特記すべき事項は朝鮮人が列車の便所内に十二俵の米をかくしていた、取締り警察官が闇屋よりサイダービンや牛乳びんを投げつけられ負傷者を出した、闇屋の上前をはね米を盜もうとして逮捕された、米袋を肩に作り更にチヤツクを付けその上に枕カバーをして米を運んだ等で昨年九、十日頃の位の闇米が押收されたが、本年はせいぜい一度に十俵位が最高で一俵も発見されないことも数回あつた、更に二月一日東京都太田区大森町自動車運転手郎東種(三四)は便所内に十俵の米をかくして捕まり三月十八日地裁平支部より懲役六カ月の判決を受けている

# 各市町村に縣稅納所
## 廿日から未納整理に大童

旧正月を前に石城地方事務所税務課では二十日から二十二日までの三日間各市町村役場に県税収納所を設け未納税の徴收に拍車をかける、十二月末現在の徴收状況は調定額四億二千百九十九万に対して収入二億五千三百二十八万で未納額は一億六千八百二十一万の四十%が滯納している、同課では去る五日滯納者六千名に催告状を送り二十二日までに千五百万円の徴收を目標としているが、未納者に対しては二月から徹底した差押えを行う予定、この一億六千八百万にのぼる滯納額は過年度繰越の五千五百七十七万円を筆頭に個人県民税の三千三百七十六万（商店界）に次ぎ個人県民税の二千六百六十五万円となつている



# 生徒三百名に
## 平高等理美容學院完成

平市田町平高等理容美容学院（連営委員長鈴木正男氏）は総工費三百八十万円で建坪九十坪の二階建校舎を増改築し、これまで百名だつた生徒を本年から一躍二百名に増やし名実ともに県下第一の理美容学院となつた、同学院は文化の発達と就職難時代を迎えて理容師美容師の志願者が激増したことから、昨年十月から増改築に着工し



# 一月競輪不振
## 賣上昨年同期より一千萬減

一月平競輪は十六日で終つたが、総売上高三千三百八十七万六千七百円と低調だつた、昨年の一月競輪は四千三百万円からの成績をあげたがこれから比べると一千万円も売上げが少くなつており、昨今の金詰りを反映している、最近の傾向として特券（千円）の売上げがガタンと少くなつており、単複の売上げも振わず、ファンはいずれも連勝式に移つてきた

# 南町の舗裝
## 月末に完成

平市三丁目、谷口楼から平館に至る延長百六十一米のアスファルト舗装工事は本日一杯で日本舗道の手によつて完成するが、一平方米当り七百円の工事費に対し地元負担半額二百五十円で合計三十六万円、二戸平均四、五千円代、地元建設委員長は松浦直惠氏

# 合併研究會に勿來加盟

勿来町では十八日町協議会を招集し三町二村合併に伴う研究会加盟問題について審議した結果、町村合併問題を研究するための研究会加盟は極めて時宜に適じた方策として満場一致をもつて加盟に決した。なお同町合併推進委員会も同様加盟に決定した

# 平成人學校
## 卅一日から

平市の成人学校は来る卅一日から公民館で開く、講師は社会科「世界の動き」平工高志賀昇、文学「生活におよぼす国語の波紋」内郷高坪切長純、謡曲「喜多流」古鍛治町山崎忠兵衛の二氏で一般の出席を勧迎している

# とぜねがら酒呑め

鵜沼秀夫

例年の通り神棚に向つてパンパン手を打ち朝酒三杯やつただけの元旦であつた。一年の計は元旦にあり、といわれるが、私にはどうして目的というものが湧いて来ないのだろう。従つてプランというものをたてる気がしない。然しこれはニヒリズムといつた大人びたものではなくて、言つてしまえば、自分自身への愛惰かも知れない。だから私はなんという目的もなく、プランなどもたてる気がしないながらも、性懲りもなく、懲うのだ。絶対に懲う勿れとは偉大なるトルストイの教訓した処と記憶するが、げに人間の微弱なることを自覚して哀心誰憑になつた心には懲うということは憎むべき頽悪になつて見えるであろう。然し私のようにぶつかつて破れるまでと観念したものには、成功が成るまいが、そのぶつかろうが成るまいが、そのぶつかり所をあらかじめ定めておくのも不当でないと思う。どうか今年こそドシドシ願う所を卒直に大胆に無刈りとられねばならないとしても私は知らない。私は卑怯者で生き卑怯者としてだけは死んでもいいと思う。

みなさん日本中のみなさん「とぜねがら酒のめ、さびしけりや酒呑め、酔つたら寝れ」みなさん「酒は呑んでも呑まれるな」などといい気な俗語は仮りにも使うな。住みにくい世間を益々住みにくくするな。もう一度だけ言う「さびしけりや酒呑め、酔つたら寝れ」たとえ問題の解決ではないとしても、革命というものが一度もなかつた日本の歴しの中に生きながらむしろ兇悪な、新しい倫理の渇望にふるえながら、私は而もなお似然として、この寂しいというよりはふやけたような日本的現実を反うしている一人なのだ。

# こけし百個
## よい子に贈る

「常磐炭鉱のよい子にあげて下さい」と新年早々「こけし」人形や百個が越智副所長あてに贈られた、この可愛いお年玉の送り主は原町市さくら人形研究所のお子さんたちからで、早速各鉱幼稚園のよい子たちに配分し喜ばれたそれでいい。叛乱は芸術だとエンゲルスが言つたそうだ。だが、そういう日はいつ来るのであろう。その日が来るまでそうだ私は石に噛りついても辛抱しなければならない卑怯者といわれ堕落とさげすまれてもそうして涙ながらに


新春特別サービス暖房付ロマンスカー

▽竹駒神社元朝詣り
▼一月二十三日午後八時平発、二十四日午前八時平着
▼会費お一人様金五百円也▼座席指定券発売中

▽成田山初詣り（日帰り）
▼一月二十九日（旧六日）午前五時平発、午後十一時平着
▼コース＝水戸、鹿島神社、香取神社、成田山参拝
▼会費お一人様金六百円也▼座席指定券発売中
▼お弁当は各自御持参下さいませ

常磐交通自動車株式会社
観光課
電話（代表）二三〇〇―三

貸家　商店ー事務所向
間口七間　奥行二間
場所大町（新国道通り）新川町寄り
姓名在社（一）

看護婦急募　若干名
有資格者及見習經驗者
右至急募集いたします
金成醫院
平市鎌田町電八二六

謹告

去る十五日小名浜臨港鉄道宮下踏切における不慮の災難により当会社所属漁船員の死傷については早速御駆付け下され種々御懇配を辱うし且御郷里なる御香典御供物の御恵与に預り御鄭懇誠に有難く深謝の至りに堪えません
一々拝趨の上親しく御礼申上げるところ取敢えず紙上を以つて御礼申上げます
昭和三十年一月十九日
宮城県塩釜市
株式會社丸魚
代表取締役　菅野猛夫

いわき民報　（可認郵便物第三種）　1部5円（除日曜）　定価1カ月金100円

# あらひめ日記

（6）

丹保三郎

九月三日

風が絶えて朝から居たゝまれない暑さだ。洗濯を乗ねて左舷のボートを降し、セーラー達が潜いで無風の海面を滑るように陸地へ向つて去つてゆく。

十時少し前サンパンが着いてドイツ人来訪。

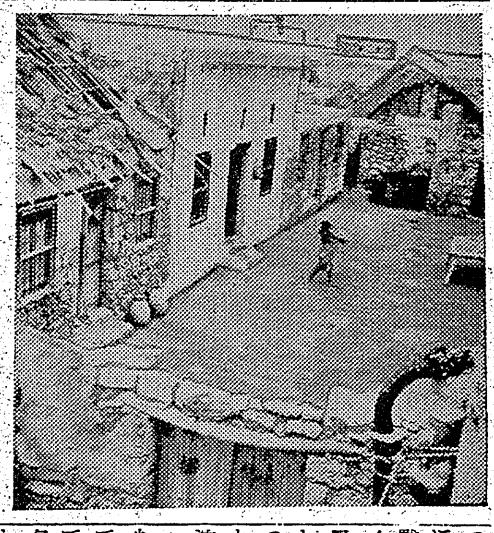
正午前にサリフから婆を診てくれと二人でやつてくる。十時にカマラン行のサンパンが迎えにくる筈なのにどうしたのか今日も来ない。カマランが気になつているので、帰つてから夜伺う旨をいつて帰える。

サリフとカマランには一人宛看護員がいて現地人の仲介者みたいに泡立つてくる。無気味な生ぬるい風圧。

カマランに着いて病院にゆき、でくる。窓がばたばた閉じられ、その閉じた窓の隙間から吹き込まれてくる砂ぼこりは汗の浮く全身の肌に堆くへばりついた。怖ろしいサンド・ストーム（砂嵐）だ。窓硝子の落ちて割れる音が闇の中から響すように起る。ランプがやつと点され、そのほの暗いあかりに照らし出されて皆は一様におし黙つている。四十分ばかり吹きまくつて風は納まつた。サンパンは暴風に先立ちサリフへ逃げ去つてしまつた。帆舟ではまだいきり立つている荒海を押し渡つてゆくとは覚束ないということで、遂に泊ることになる。

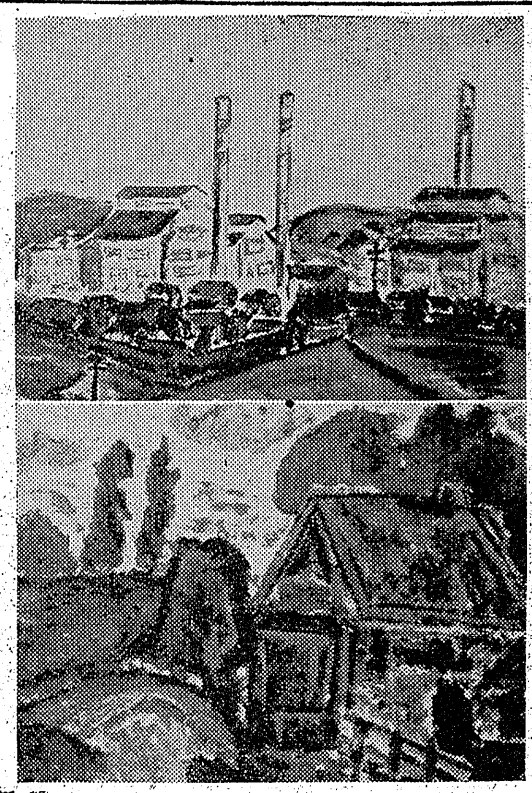
昨日御馳走になつたところだ。少年が呉れた玉子を、腹へつたので一つ割つて飲んだ。小さな玉子である。迷惑をかけたくないので夕食はすんだふりしてしまう。茶も心配で飲めないのだ。

ランプの光りに照らし出されとう椅子に腰かけながら老人を相手にボツリボツリ限られた語いと手振りで話をして深更に及ぶ。忘れ難いアラビアの一夜。窓から見下す広場に三日月が黒い家々の影を短く落す。（醫務課醫園医師）



（写真は中庭のある民家のつくり）

# 大地に師の恩　友の情



高野洋傘店落成賣出し

磐城市小名浜銀座高野洋傘店では新築落成記念大売出しを十八日より三日間行つている。学童洋傘（十本骨）二百二十円、婦人用二百四十円、実用大人三百六十円など超廉価販売中、なお行田足袋も特売している

はちやのサービス

磐城市中島商店街はちやでは毎月八、十八、二十八日の八の日特売日と定め全商品特別サービスを行い人気を呼んでいる

白寶堂で検定奉仕

平市新川町「白宝堂時計店」はユニバーサル万能時計検定器を設備し、細得意のサービスとして検定と調整を無料で当分の間奉仕中

発電所　六の一　高橋俊雄　風景

六の一　大松けい子

ひつじ年

## はい句

六の一　岡部イミ子

から紙にぽつゝり穴が一つある

夜おそく気できをならして走る汽車

カチカチと夜まわり歩くやじいさん

庭先で子供喜ぶ雪だるま

夜の町ネオンがきれいに光つてる

## 詩　ひつじ年

六の一　松崎文子

小すずめやえさをさがしに雪の朝

羽つきや顔に二丸女の子

## はい句

六の一　松崎文子

そら出た初日

みんなでおがもう

すなおにやさしく

ひつじのように

ふみ出せひつじ年に

大きなゆめと

希望を持つて

心にちかつて

すこそうこの年

## 詩　ひつじ年

六の一　大内美惠子

カマランに着いて病院にゆき、その閉じた窓の隙間から吹き込まれてくる砂ぼこりは汗の浮く全身の肌に堆くへばりついた。怖ろしいサンド・ストーム（砂嵐）だ。窓硝子の落ちて割れる音が闇の中から響すように起る。ランプがやつと点され、そのほの暗いあかりに照らし出されて皆は一様におし黙つている。四十分ばかり吹きまくつて風は納まつた。サンパンは暴風に先立ちサリフへ逃げ去つてしまつた。帆舟ではまだいきり立つている荒海を押し渡つてゆくとは覚束ないということで、遂に泊ることになる。

昨日御馳走になつたところだ。少年が呉れた玉子を、腹へつたので一つ割つて飲んだ。小さな玉子である。迷惑をかけたくないので夕食はすんだふりしてしまう。茶も心配で飲めないのだ。

ランプの光りに照らし出されとう椅子に腰かけながら老人を相手にボツリボツリ限られた語いと手振りで話をして深更に及ぶ。忘れ難いアラビアの一夜。窓から見下す広場に三日月が黒い家々の影を短く落す。（醫務課醫園医師）

# 詩

## 春の青空

六の一　福本美代子

すつきりとすみわたつた

世界のはてからはてまで

雲一つないさわやかな青空

## 平二小作品

うめの花は青空に

白くほのかにかおる。

すずめ、からすも

かわいゝ声でないている

春の青空

私の心も青空のようだ

## いわき歌壇

### 新年北目短歌會

席題「庭園小景」

鈴木富美子

午後の陽の斜めにさせば黒々と大きい槻の幹顕（た）ちてくる

斎藤　常雄

淡雪はとけて庭の土黒く紫雲陽花の根かたに木賊（とくさ）つゝまし

丹　保三郎

庭隅の堆肥のかげにくろずみし雪を残して陽ざし寒ふ

鈴木三津子

陰影のあわきはだれの築山さよ吾が悲しみのごと土にすわれゆく

高荻　鳳風

夕日おつる裸木に雪をわたる風たえまなく吹き寒し山羊小屋

鈴木　弘子

牛の声をりをり聞え今日訪ひしこの家の庭に冬陽あたゝかし

山川ミサ子

枯れ草もバラの小枝もゆれおりて日差しをあびる雪どけの庭

上田　令人

あたたかき光となれる雪のうへ空の青さを時折うつす

大谷　英子

白きものフト吾が視野をよぎりたり午後の陽射しのゆらめくあたり

大内美惠子

木洩れ日の冬庭におり立ちいたきまで胸をつきくる後悔をかむ

鈴木謙四郎

庭隅に光りてゐるもちの木のあるをわづかの慰めとする

佐川定次郎

けさの雪はだらに残る庭隅の木賊の影は雪に及べり

鈴木　久一

庭すみの池にすてられ傾きしヨツトに残る今朝の初雪

鈴木　初子

くろずみて残るカンナの葉のかげにヒヤシンスの芽青くたちより

## 今晩のラジオ

19日

◇NHK二六〇KC
午・三〇（福）郷土風物詩
七・三〇　即興劇場
八・〇〇　放送演芸会　柳亭痴楽
九・一五　NHKシンフオニーホール
一〇・一五　新しい道　青山京子
一〇・五〇　映画室　森繁久彌
◇ラジオ福島一〇六〇KC
七・三〇　浪曲名人集
八・〇〇　連続講談「妖棋傳」貞丈
八・三〇　アルゼンチンタンゴ
九・〇五　ドレミアアゲーム
九・三五　角家演芸会
一〇・〇五　名作アルバム

## 今週の映画

15日―21日

★平館　夜七時
透明人間　この広い空のどこかに
★民劇　夜五時三〇分
人喰い彦斉　浮れ狐千本桜
★磐楽館　夜六時三〇分
日ごもる日後宮
怪傑ラスプーチン　謎のモルグ街（二十日まで）
★ひかり座　夜六時五〇分
マラガ　宵い変（十九日まで）
★世界館　夜六時三十三分
紅孔雀二部　謎の怪人屋敷　春の渦巻

## 議員氣質

あの橋は十票…この道つくれば百票間違いないわい

（平　凡子）

## 連發式禁止の理由

再軍備を助長する危険があるんでネ

―社会党―

（高久　かふし）


洋服は高島屋　平市鎌町　大和田医院前

地下タビ　運動靴は　長靴　祖國　製造元　校倉本店

牛と豚肉　ハムとソーセージ　藤越　平電1282

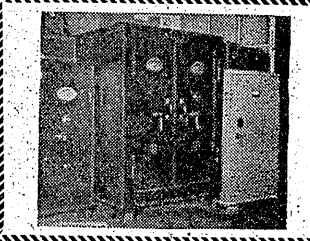
電話四九四番　一般建築材　建具材　阿部材木店　平市紺屋町

ロープはタナカ

いっぽう　開花

季節前でいつ何時でもお食事の出来る店　トキワ食堂　デンワ一三七〇

新しいDPは富士

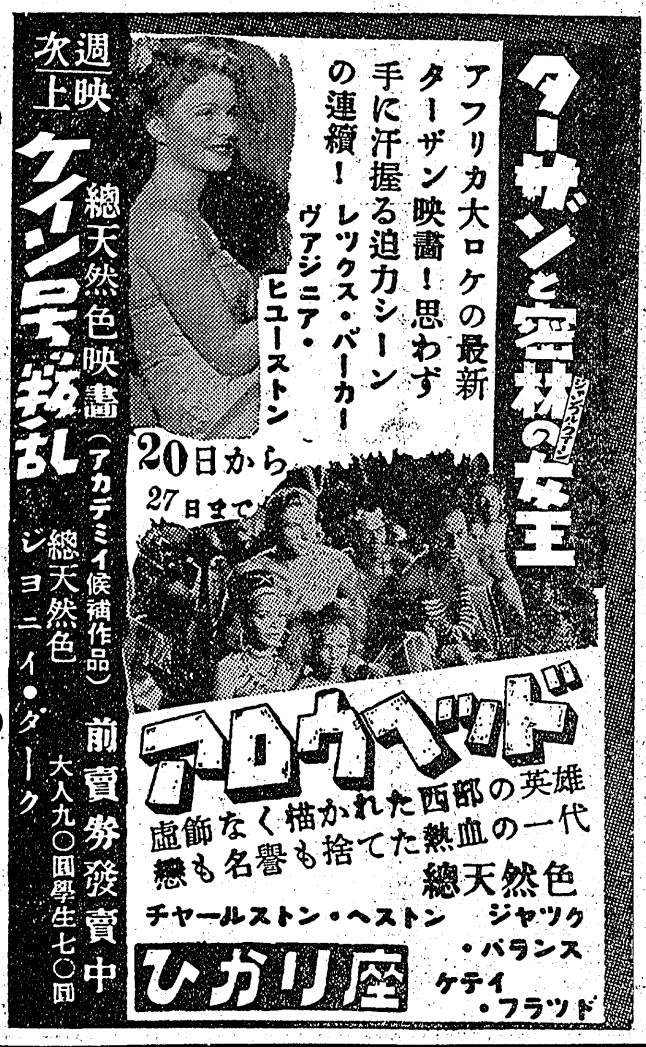


東京一流メーカー　各種金庫　〃　レジスター　販賣・修理　萩金庫商會　平市中央通り電1352

眼鏡專門　各眼科医指定　平指定商チケツトご利用下さい　玉屋　平市二丁目電910

大谷石　五丁目　井上

皆様の　関内薬局　電40番

贈物に！　置時計！　腕時計！　……オルゴール……　☆御名入サービス☆　金光堂　5丁目　電195

第四回石城酒造品評會　第二回全國清酒品評會　優等賞受領　吟香に薫る　天宅　山宗酒造店　平市南町電二一二